

**平成26年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 地域・高年福祉 課

1. 基本情報

701

施設名	伊丹市立サンシティホール		
施設の設置目的	高齢者をはじめとする市民の文化、教養並びに福祉の向上を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 元気、生きがい、安心の高齢者福祉		
指定管理者の名称	伊丹市シルバー人材センター (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2丁目13		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数	(単位： 人)
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	224, 400	今年度の実績値 227, 184

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H22	H23	H24	H25	H26 (上期)	H26 (通期)
	来館者数 (人)		204, 367	222, 045	218, 503	222, 702	215, 295	117, 658
貸し室稼働率 (%)		40	51	54	61	65	61	66
講座開催回数 (回)		309	602	581	522	558	244	490
講座参加者数 (人)		6, 773	12, 355	12, 710	11, 571	9, 873	4, 812	9, 863

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成26年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	53, 205	指定管理委託料	53, 205
	事業収入（講座料収入等）	5, 100	事業収入（講座料収入等）	3, 510
	その他	111	その他	250
	合計	58, 416	合計	56, 965
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	15, 993	人件費	15, 097
	維持管理経費	34, 019	維持管理経費	35, 493
	事業等経費	8, 404	事業等経費	6, 321
その他	0	その他	0	
合計	58, 416	合計	56, 911	
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	54	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入		307	351	383	366	343
(内、使用料収入)		307	351	383	366	343	355
市の支出		51, 370	53, 499	51, 952	51, 772	54, 075	58, 058
(内、指定管理委託料)		49, 940	49, 940	49, 940	49, 929	51, 140	53, 205
実質経費（歳出－歳入）		51, 063	53, 148	51, 569	51, 406	53, 732	56, 880

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	緑化担当グループを設け、施設周辺緑化を重点事業として取り組んでいる。	A	緑化担当グループにより、施設周辺の緑化を重点的に取り組んでいる。また施設周辺の清掃にも力を入れている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	仕様書に基づき適正に配置している。	B	仕様書に基づき適正に配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	消防訓練として、避難訓練を2回/年実施している。	A	年2回の消防訓練を実施しており、緊急時の連絡体制の整備も行っている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	「利用者の声」というご意見箱を設置し、その意見対応策を掲示。各同好会と積極的に交流を図っている。	A	サービス向上の取組として、ご意見箱を設置し、施設利用者の意見を積極的に抽出している。人気のある講座は1部制から午前と午後の2部制に変更し利用者の要望に応えている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	市の施策にリンクした自主事業を展開している。	B	高齢者をはじめ、他世代の生涯学習に貢献している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	ホームページを自主運営し、積極的に情報公開している。	A	ホームページでの周知や各施設へチラシの配布により積極的に事業PRを行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	経理処理を複数人でおこない適切に実施している。	B	適正に実施している。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価 B	ご意見箱の設置を行い、利用者の声を積極的に取り入れようと努めており、その取組により施設の来館者の増加へと繋がった。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成 年月日 ～ 平成 年月日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し		
回答者数		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
専用室使用の減免申請について、市長が決定すべきところ、指定管理者の決定で運用されているので改善が必要。	新しい書式を導入して利用者に周知。取り決め事項を固めるため協議しながら取り組み継続中。